

東北地方 1か月予報

(10月25日から11月24日までの天候見通し)

平成15年10月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半、東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

向こう1か月の平均気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 10月25日(土)~11月24日(月)

1週目 : 10月25日(土)~10月31日(金)

2週目 : 11月 1日(土)~11月 7日(金)

3~4週目 : 11月 8日(土)~11月21日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は10月31日

3か月予報:11月25日(火) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	9.4	112.5	147.4	11.5	10.4	8.4
新庄	7.5	194.8	75.1	9.8	8.4	6.5
若松	8.3	75.5	100.3	10.4	9.3	7.3
深浦	8.8	154.2	86.3	11.1	9.9	7.7
青森	7.8	133.6	107.6	10.2	8.9	6.6
むつ	7.5	118.4	122.8	9.9	8.6	6.4
八戸	7.9	71.9	148.2	10.3	9.0	6.8
秋田	8.9	185.9	101.7	11.2	9.9	7.8
盛岡	6.9	100.4	129.5	9.2	8.0	5.9
宮古	8.9	89.1	155.0	10.9	9.9	8.0
酒田	10.2	218.5	98.0	12.4	11.1	9.2
山形	8.4	79.7	112.0	10.6	9.4	7.4
仙台	10.3	74.8	150.6	12.5	11.3	9.3
石巻	9.6	75.4	158.0	11.8	10.6	8.5
福島	10.2	69.0	139.0	12.4	11.2	9.2
白河	8.8	69.8	153.0	10.9	9.9	7.8
小名浜	11.9	98.7	166.1	13.9	12.9	11.0

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.6	81~111	95~104
東北日本海側	-0.3~+0.5	93~107	94~105
東北太平洋側	-0.4~+0.6	68~117	96~104

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7~+0.8	-0.6~+0.7	-0.4~+0.5
東北日本海側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.7	-0.4~+0.5
東北太平洋側	-0.7~+0.8	-0.6~+0.7	-0.4~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年10月24日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(10月25日～11月24日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半、東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(10月25日～10月31日)：

明日(25日)から明後日(26日)と期間の中頃は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の降る所がありますが、その他の日は高気圧に覆われておおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(11月1日～11月7日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4週目(11月8日～11月21日)：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では一時寒気の影響でしぐれる見込みです。

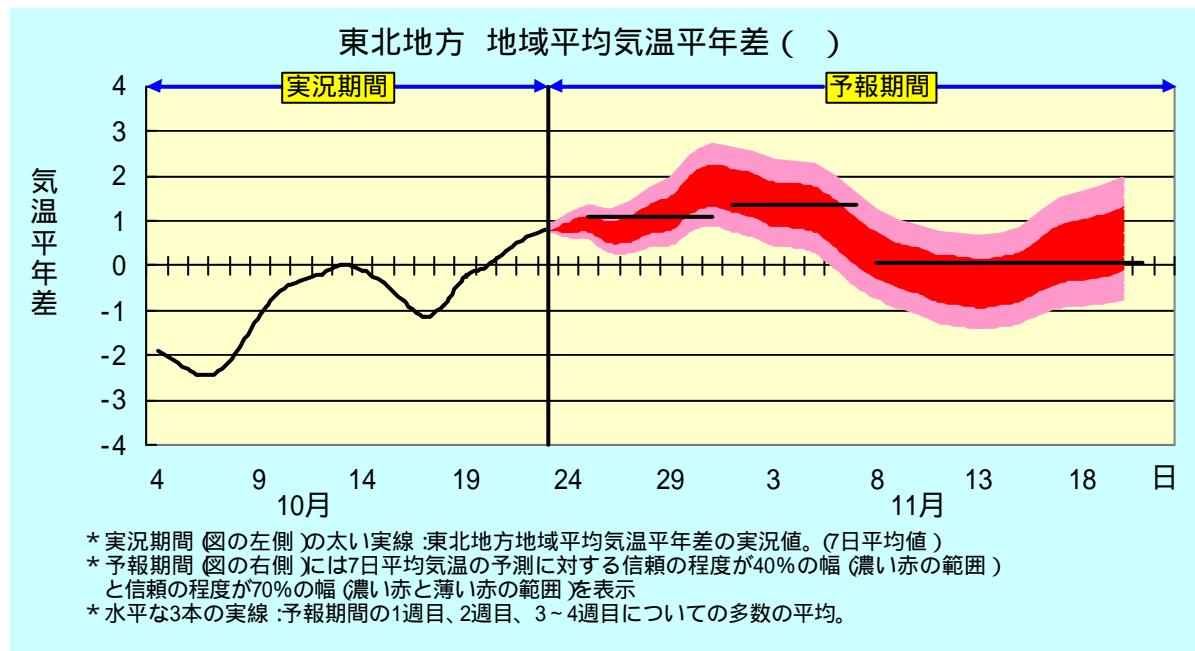
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	9.9日	2.9日	3.0日	4.0日
東北太平洋側	16.6日	4.2日	4.3日	8.1日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「高い」、3～4週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から、1週目を「平年並」、2週目を「平年並か高い」とする。なお、数値予報の信頼度は小さい。

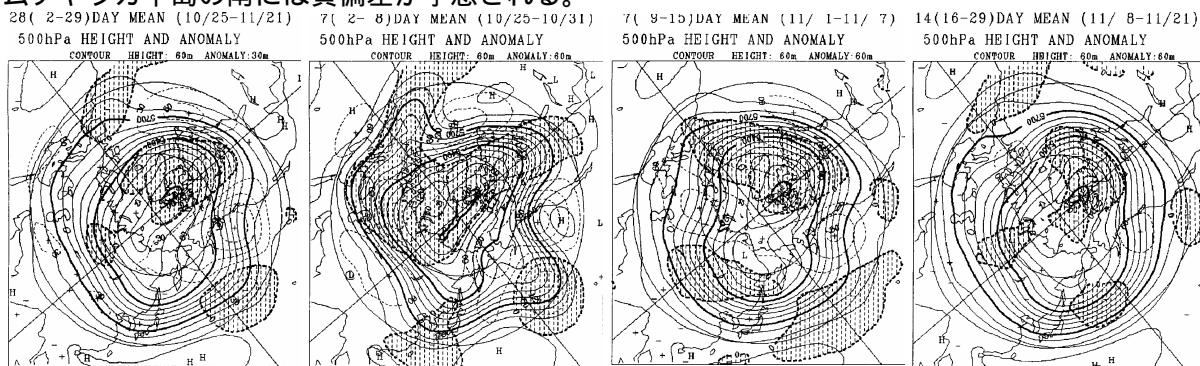


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は広く正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わる見込み。

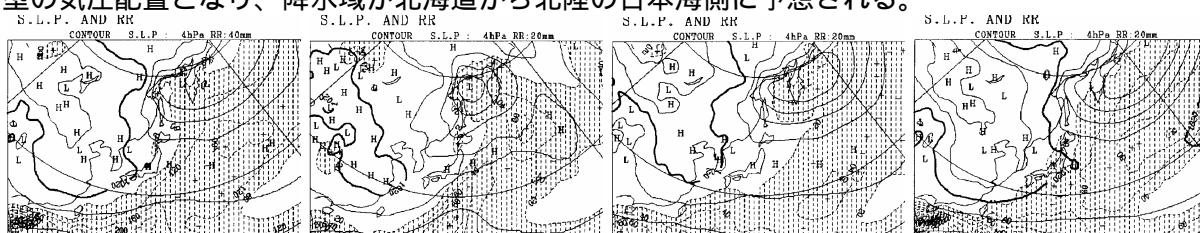
週別に見ると、1週目は、沿海州から東シナ海にかけて気圧の谷となり西日本以西は負偏差だが、北日本は正偏差。2週目はバイカル湖からオホーツク海にかけては負偏差となるが、日本付近は広く正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調となる。3~4週目は日本付近は正偏差だが、カムチャツカ半島の南には負偏差が予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、本州付近の等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる見込み。北日本の日本海側には、しぐれに対応するとみられる降水域が予想される。

週別に見ると、1週目は北海道から東北北部の日本海側には弱い降水域がかかる。2週目は月平均とほぼ同様。3~4週目は大陸の高気圧が強まって、日本付近まで張り出す。北日本では弱い冬型の気圧配置となり、降水域が北海道から北陸の日本海側に予想される。

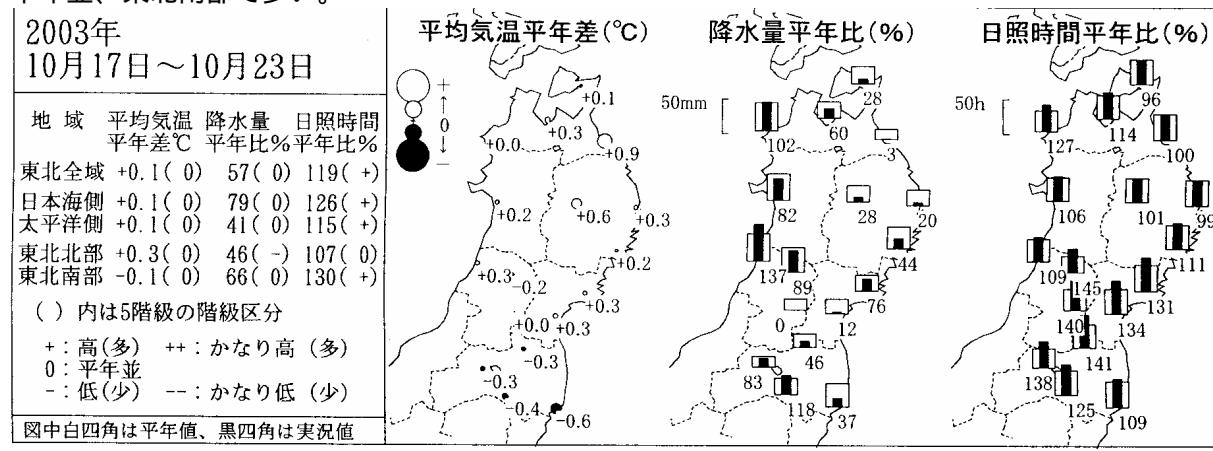


4. 最近1週間（10月17日～10月23日）の天候の経過

天気は数日の周期で変化した。18日と22~23日は低気圧や前線の影響で曇りや雨となったが、その他の日は高気圧に覆われて概ね晴れた。

なお、17日に月山、朝日岳の初冠雪を観測した。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。日照時間は、東北北部で平年並、東北南部で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)